

東久留米市立第六小学校 第6学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<p>◇全国学力・学習状況調査(国語)から「書く力」 〔正答率R3:58.3% R4:57.7% R5:28.3% R6:79.8%〕</p> <p>①事実と感想、意見との区別を明確にして、自分の考えを書く。 ②根拠や結果、判断理由を基に自分の考えを書く。 ③他者の意見や考えを基に自分の考えを書く、他者の意見や考えから自分の考えを書き直す。 ④自分の考えが伝わるよう、必要な情報を取り出して書く。</p> <p>◇目的や意図に応じて、資料や集めた材料を分類したり関係づけたりして伝える内容を考えることに課題が見られる児童が20%いる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 条件や様式、文章構成を考えて文章を書き、多様な手段・方法で意図や要旨を分かりやすく伝える経験を積み重ねさせる。 →内容や要点、考えを整理して伝えることができる。(目標値:ワークシートやタブレットを活用して文章を整理できる児童75%) 朝学習の時間に既習漢字の様々な熟語や使い方に触れる。短文を使った練習問題に取り組む。 →ワークシートやEライブラリ確認テストで理解を確かめる。(目標値:正しく理解できている児童80%) 考える視点を明確にして考える時間を確保し、相手やグループで意見交流をする。ICTやワークシートを活用して、考えの変化や深まり等をまとめる。
算数	<p>◇全国学力・学習状況調査(国語)から「書く力」 〔正答率R3:58.3% R4:57.7% R5:28.3% R6:79.8%〕</p> <p>②根拠や結果、判断理由を基に自分の考えを書く。 ③他者の意見や考えを基に自分の考えを書く、他者の意見や考えから自分の考えを書き直す。 ④自分の考えが伝わるよう、必要な情報を取り出して書く。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査(算数)学力調査から「変化と関係〔正答率62.8%〕、データの活用〔正答率63.9%〕」</p> <p>◇東京ベーシックドリルから学習の定着率(正答率)の二極化(正答率8割以上30%、正答率2割未満15%)</p> <p>◇数量関係や量と測定の領域、割合や単位量当たりの大きさに関する概念の理解に課題が見られる児童が20%。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間、既習事項を根拠に自分の考えを書く時間を確保する。 問題場面を数直線や表などに整理し立式し、考えを交流して理解を深める活動を計画的に取り入れる。 →単元で2回以上、作図や数直線、立式等の考えが表現できるか確認する。(目標値:80%以上の児童) 学習の振り返りの視点を示し、自己評価することで、子供自身が自分の学習状況を正しく把握、次の学びに活かすことができる自己調整力を育成する。 朝学習で東京ベーシック・ドリルから、児童の実態に合った効果的な問題を選んで繰り返し復習する。(数量関係や量と測定、割合や単位量当たりの大きさの問題について) 具体物、半具体物を操作する活動や視覚的に捉えることができる教材などを多く取り入れて数量感覚を養う。図や数直線に表して考える機会を多くつくる。 →ワークシートやEライブラリ確認テストから見取る。(目標値:正答率75%以上)
理科	<p>◇全国学力・学習状況調査(算数)学力調査から「変化と関係〔正答率62.8%〕、データの活用〔正答率63.9%〕」</p> <p>◇全国学力・学習状況調査(国語)から「書く力」 〔正答率R3:58.3% R4:57.7% R5:28.3% R6:79.8%〕</p> <p>③他者の意見や考えを基に自分の考えを書く、他者の意見や考えから自分の考えを書き直す。 ④自分の考えが伝わるよう、必要な情報を取り出して書く。</p> <p>◇ものの燃え方、人の体のしくみなど基礎的な知識の理解の定着が十分ではない児童が15%いる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察によって体験的に学ぶ。単元の導入やまとめでは、図やイラストをタブレット端末を使ってまとめる活動を意図的に取り入れ、理解度を把握して指導する。 →タブレットにまとめた内容やワークシートから理解の定着を見取る。(目標値:90%以上の児童) 既習事項を根拠に予想を立て、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で実験結果を考察し、考えを交流するなかで学習を深める。 →学習ノートや実験グループでの話し合いの内容から見取る。(目標値:予想や考察を適切に表現できる児童が、3学期までに80%以上)
特別の 道徳 の 教科	<p>◇全国学力・学習状況調査(国語)から「書く力」 〔正答率R3:58.3% R4:57.7% R5:28.3% R6:79.8%〕</p> <p>③他者の意見や考えを基に自分の考えを書く、他者の意見や考えから自分の考えを書き直す。</p> <p>◇主題やねらいについて理解するだけでなく、自分事として主体的に考え、話し合うことに課題のある児童が10%いる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の教材提示や発問内容、授業展開を工夫し、自分事として考えられるよう自分の考えを書く時間を必ず設定する。 導入に児童アンケートを取り入れたり、まとめで体験談を交流する時間を設ける。 →ワークシートやアンケート結果から見取る。(目標値:自分の考えを書ける児童95%以上) それぞれの意見が違うことで考えが広がり、深まることを指導する。 →ワークシートに記入している内容から自分の考えと友達のことを比較したり、取り入れたりして考えているかを見取る。